

2020/4~2020/6

にっしん景況レポート

Vol.

17

2020/7



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2020年4~6月の景気の現状と2020年7~9月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2020年4~6月の実績(6月については予想)
2020年7~9月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の362社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2020年4~6月
前期 = 2020年1~3月
前年同期 = 2019年4~6月
来期 = 2020年7~9月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	49	22	18	25	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	154	24	24	17	40	26	23
業種合計	362	90	57	41	73	54	47



日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

●今期の景況

今期(2020年4月～6月)は、前期(2020年1月～3月)以上に新型コロナウイルス感染拡大が大きく影響したとみられ、景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が前期に比べ41.7ポイント悪化し、2016年の調査開始以来で最悪となる▲56.7に落ち込んでいる。

売上額判断D.I.も同様に、37.6ポイント悪化し▲56.4となり、収益判断D.I.も39.8ポイント悪化し▲55.0と2016年の調査開始以来で調査対象である「製造業」「卸売業」「小売業」「サービス業」「建設業」「不動産業」の全てで過去最悪の結果となっている。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲7.5となり、前期実績より23.0ポイント改善し、企業の人手不足感は急激に低下するという結果になった。その要因には、新型コロナウイルスの影響で外出自粛や休業が広がった影響で経済活動が停滞し、業務量が大幅に減少したことであり人手不足判断D.I.にも変化が起きている。

●来期の見通し

来期(2020年7月～9月)の予想業況判断D.I.は▲51.8と今期実績から改善する見通しであり、今後においても新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、緊急事態宣言の解除を受け、底打ち感が出ている模様である。

〈「御社の業況」回答数〉(※業況判断D.I.については、2企業の回答が無かったため、360企業の回答で算出しています)

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	4	15	118	138	85	360*
回答割合	1.1%	4.2%	32.8%	38.3%	23.6%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 5.278\% - 61.944\% \doteq -56.7$$

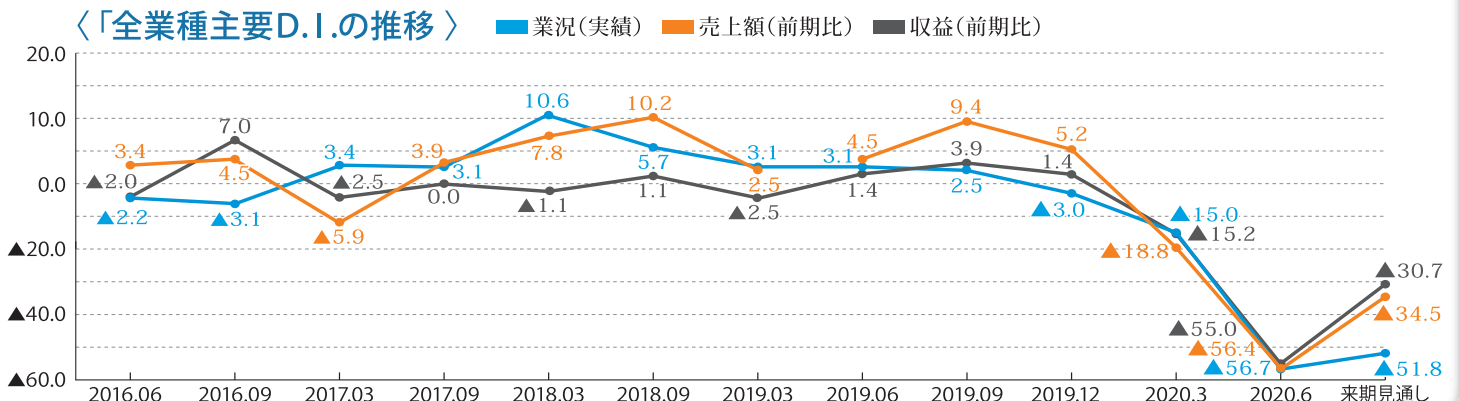
〈2020年4～6月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲48.7	▲40.8	▲45.5	▲72.2	▲54.2	▲26.3	▲65.0
三木地区	▲70.9	▲76.5	▲72.7	▲66.7	▲62.5	▲66.7	▲75.0
神戸地区	▲59.5	▲60.9	▲79.2	▲58.8	▲65.0	▲42.3	▲47.8
全地区	▲56.7	▲52.8	▲64.9	▲65.9	▲61.1	▲40.7	▲57.4

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲15.0	▲56.7	▲51.8	販売価格(前期比)	▲1.9	▲14.9	▲14.1
売上額(前期比)	▲18.8	▲56.4	▲34.5	仕入価格(前期比)	13.0	▲1.9	▲3.9
売上額(前年同期比)	▲15.3	▲62.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲4.4	▲27.7	▲25.4
収益(前期比)	▲15.2	▲55.0	▲30.7	人手不足(過剰-不足)	▲30.5	▲7.5	▲10.3
収益(前年同期比)	▲15.9	▲58.4	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲52.8となり、前期実績と比して38.2ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲57.8、収益判断D.I.は▲52.2となり、前期実績と比してそれぞれ52.2ポイント、51.1ポイント減少した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲65.2、収益判断D.I.の前年同期比は▲59.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が4.4となり、前期実績から24.6ポイント改善したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、人出不足が解決したことではないと考えられる。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲50.6と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲41.1、予想収益判断D.I.は▲34.4となり、今期実績から売上額および収益は増加する見通しとなっている。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲14.6	▲52.8	▲50.6	販売価格(前期比)	0.0	▲7.8	▲13.3
売上額(前期比)	▲5.6	▲57.8	▲41.1	仕入価格(前期比)	18.0	2.2	▲4.4
売上額(前年同期比)	▲16.9	▲65.2	—	資金繰り(楽-苦)	5.6	▲23.3	▲20.0
収益(前期比)	▲1.1	▲52.2	▲34.4	人手不足(過剰-不足)	▲20.2	4.4	1.1
収益(前年同期比)	▲14.6	▲59.6	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲64.9となり、前期実績と比して33.3ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲68.4、収益判断D.I.は▲63.2となり、前期実績と比してそれぞれ17.5ポイント、22.8ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲73.7、収益判断D.I.の前年同期比は▲64.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が0.0となり、前期実績から19.3ポイント改善したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、人出不足が解決したことではないと考えられる。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲61.4と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲47.4、予想収益判断D.I.は▲40.4となり、今期実績から売上額および収益は増加する見通しとなっている。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲31.6	▲64.9	▲61.4	販売価格(前期比)	▲15.8	▲26.3	▲17.5
売上額(前期比)	▲50.9	▲68.4	▲47.4	仕入価格(前期比)	1.8	▲7.0	▲1.8
売上額(前年同期比)	▲24.6	▲73.7	—	資金繰り(楽-苦)	▲15.8	▲33.9	▲24.6
収益(前期比)	▲40.4	▲63.2	▲40.4	人手不足(過剰-不足)	▲19.3	0.0	0.0
収益(前年同期比)	▲26.3	▲64.9	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲65.9となり、前期実績と比して39.1ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲61.0、収益判断D.I.は▲63.4となり、前期実績と比してそれぞれ22.0ポイント、36.6ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲56.1、収益判断D.I.の前年同期比は▲58.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲2.4となり、前期実績から39.1ポイント改善したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、人出不足が解決したことではないと考えられる。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲68.3と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲39.0、予想収益判断D.I.は▲41.5となり、今期実績から売上額および収益は増加する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲26.8	▲65.9	▲68.3	販売価格(前期比)	▲4.9	▲9.8	▲22.0
売上額(前期比)	▲39.0	▲61.0	▲39.0	仕入価格(前期比)	▲4.9	▲4.9	▲12.2
売上額(前年同期比)	▲26.8	▲56.1	—	資金繰り(楽-苦)	▲34.1	▲48.8	▲51.2
収益(前期比)	▲26.8	▲63.4	▲41.5	人手不足(過剰-不足)	▲41.5	▲2.4	▲2.4
収益(前年同期比)	▲19.5	▲58.5	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲61.1となり、前期実績と比して37.8ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲64.4、収益判断D.I.は▲58.9となり、前期実績と比してそれぞれ48.0ポイント、39.7ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲65.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲64.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲24.7となり、前期実績よりも15.0ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲56.9と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲28.8、予想収益判断D.I.は▲27.4となり、今期実績から売上額および収益は増加する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲23.3	▲61.1	▲56.9	販売価格(前期比)	0.0	▲2.7	▲1.4
売上額(前期比)	▲16.4	▲64.4	▲28.8	仕入価格(前期比)	6.8	▲4.2	2.8
売上額(前年同期比)	▲5.5	▲65.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲8.2	▲35.6	▲28.8
収益(前期比)	▲19.2	▲58.9	▲27.4	人手不足(過剰-不足)	▲39.7	▲24.7	▲26.0
収益(前年同期比)	▲15.1	▲64.4	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲40.7となり、前期実績と比して40.7ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.が▲38.9、収益判断D.I.が▲40.7となり、前期実績と比してそれぞれ24.1ポイント、22.2ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲55.6、収益判断D.I.の前年同期比は▲51.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲11.3となり、前期実績から33.1ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲38.9と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲25.9、予想収益判断D.I.は▲20.4となり、今期実績から売上額および収益は増加する見通しとなっている。

〈 建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	0.0	▲40.7	▲38.9	販売価格(前期比)	0.0	▲22.2	▲20.4
売上額(前期比)	▲14.8	▲38.9	▲25.9	仕入価格(前期比)	27.8	9.3	1.9
売上額(前年同期比)	▲20.4	▲55.6	—	資金繰り(楽-苦)	3.7	▲20.4	▲22.2
収益(前期比)	▲18.5	▲40.7	▲20.4	人手不足(過剰-不足)	▲44.4	▲11.3	▲22.6
収益(前年同期比)	▲20.4	▲51.9	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲57.4となり、前期実績と比して68.0ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲42.6、収益判断D.I.は▲53.2となり、前期実績と比してそれぞれ46.9ポイント、61.7ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲53.2、収益判断D.I.の前年同期比は▲46.8となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲12.8となり、前期実績から10.6ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

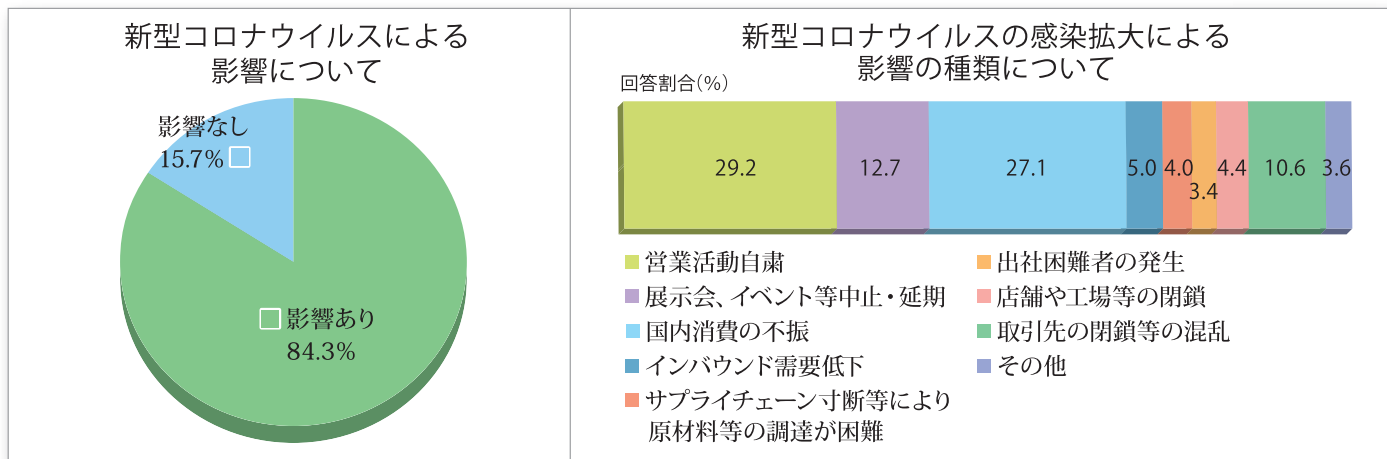
来期の予想業況判断D.I.は▲34.8と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲21.3、予想収益判断D.I.は▲19.1となり、今期実績から売上額および収益は増加する見通しとなっている。

〈 不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	10.6	▲57.4	▲34.8	販売価格(前期比)	8.5	▲29.8	▲17.0
売上額(前期比)	4.3	▲42.6	▲21.3	仕入価格(前期比)	25.5	▲10.6	▲14.9
売上額(前年同期比)	0.0	▲53.2	—	資金繰り(楽-苦)	12.8	▲6.4	▲12.8
収益(前期比)	8.5	▲53.2	▲19.1	人手不足(過剰-不足)	▲23.4	▲12.8	▲12.8
収益(前年同期比)	2.2	▲46.8	—				

特別調査：「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」

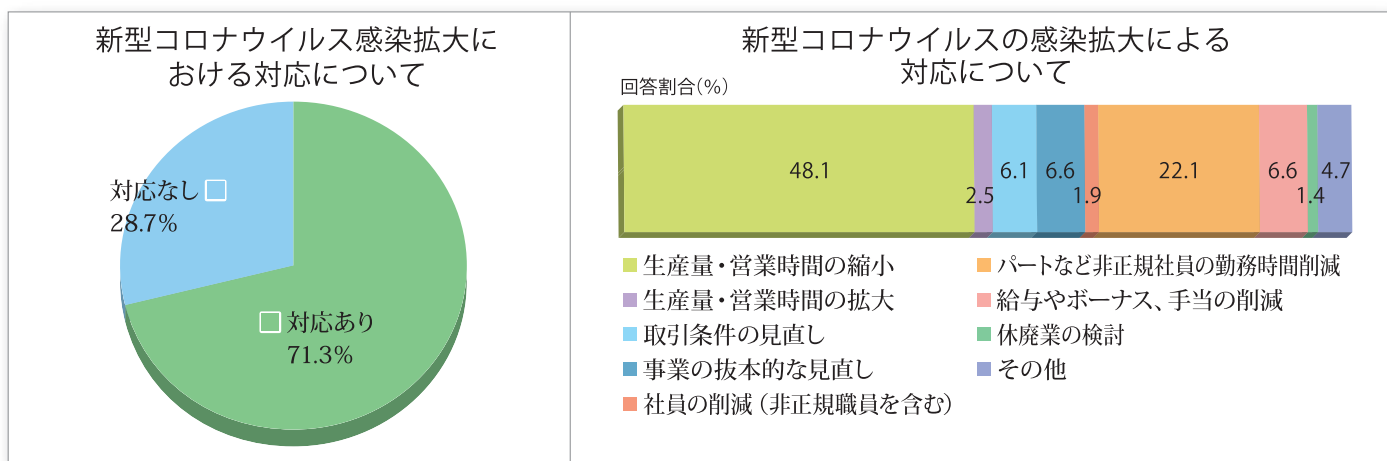
～新型コロナウイルスによる影響を受けているかどうかについて～



新型コロナウイルスによる影響については、「影響あり(84.3%)」、「影響なし(15.7%)」の結果となった。

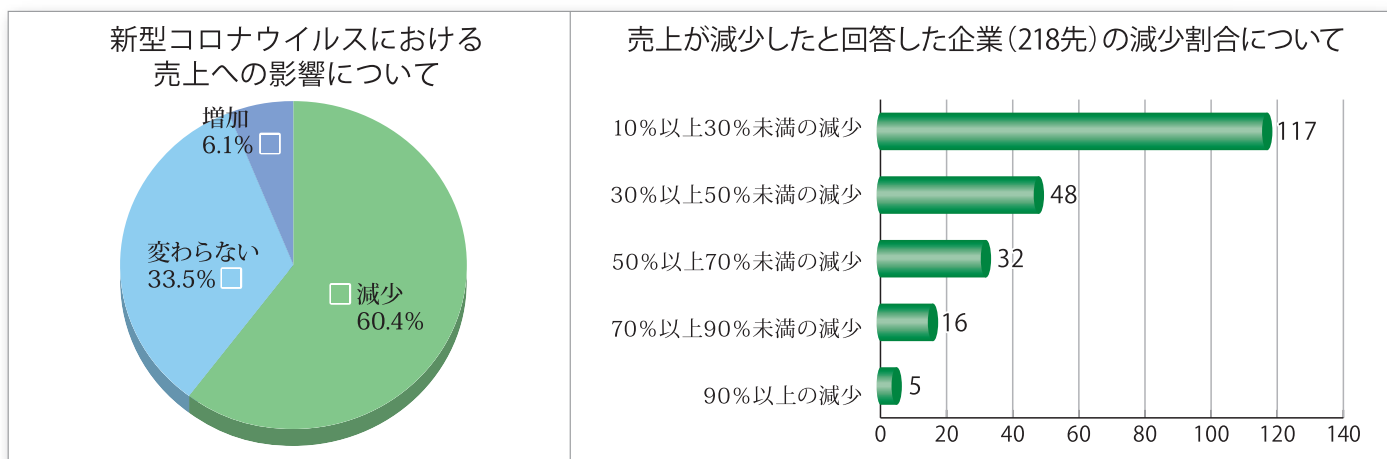
「影響あり」と回答した中では、「営業活動自粛(29.2%)」、「国内消費の不振(27.1%)」、「展示会、イベント等中止・延期(12.7%)」、「取引先の閉鎖等の混乱(10.6%)」、「インバウンド需要低下(5.0%)」、「店舗や工場等の閉鎖(4.4%)」、「サプライチェーン寸断等により原材料等の調達が困難(4.0%)」、「その他(3.6%)」、「出社困難者の発生(3.4%)」の順となった。

～新型コロナウイルス感染拡大を受けて、どのような対応をとられているかについて～



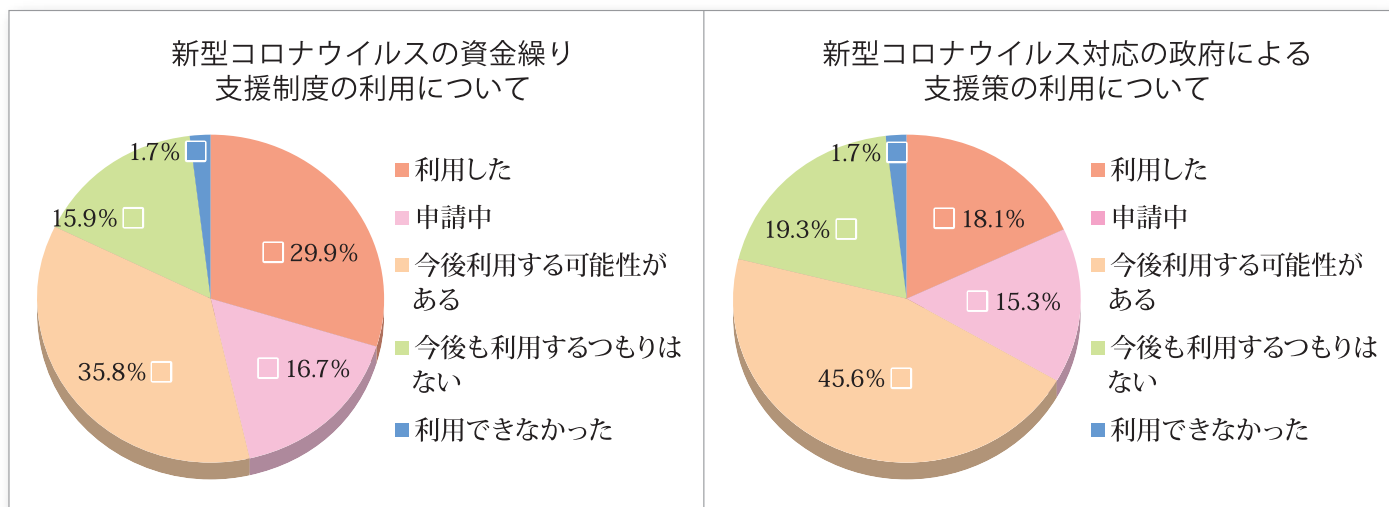
新型コロナウイルス感染拡大における対応については、「対応あり(71.3%)」、「対応なし(28.7%)」の結果となった。「対応あり」と回答した中では、「生産量・営業時間の縮小(48.1%)」、「パートなど非正規社員の勤務時間削減(22.1%)」、「事業の抜本的な見直し(6.6%)」、「給与やボーナス、手当の削減(6.6%)」、「取引条件の見直し(6.1%)」、「その他(4.7%)」、「生産量・営業時間の拡大(2.5%)」、「社員の削減(非正規職員を含む)(1.9%)」、「休廃業の検討(1.4%)」の順となった。

～今期(4~6月)の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合と比較すると、どの程度変化があったかについて～



新型コロナウイルスにおける売上への影響については、「減少(60.4%)」、「変わらない(33.5%)」、「増加(6.1%)」の結果となった。また、減少割合については、10%以上30%未満の減少が一番多い回答となった。

● ～危機関連保証や制度融資などの新型コロナ対応の資金繰り支援制度を利用したか。……
また、資金繰り以外の政府による支援策を受けたかについて～

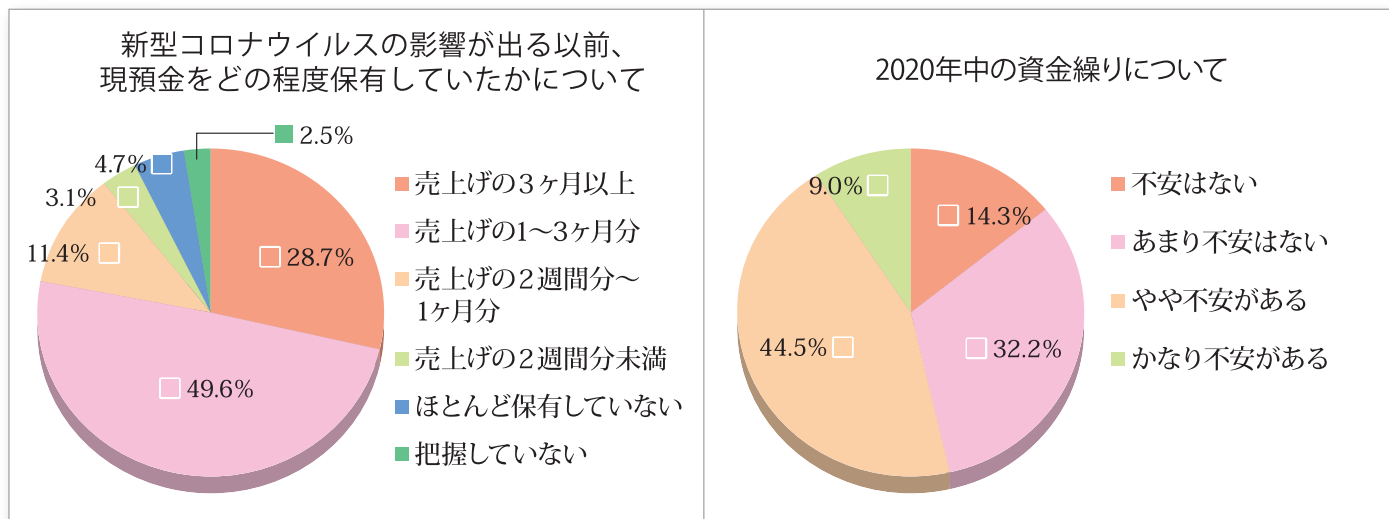


新型コロナウイルス対応の資金繰り支援制度の利用については、「利用した(29.9%)」、「申請中(16.7%)」、「今後利用する可能性がある(35.8%)」、「今後も利用するつもりはない(15.9%)」、「利用できなかった(1.7%)」の結果となった。

新型コロナウイルス対応の政府による支援策の利用については、「利用した(18.1%)」、「申請中(15.3%)」、「今後利用する可能性がある(45.6%)」、「今後も利用するつもりはない(19.3%)」、「利用できなかった(1.7%)」の結果となった。

資金繰り支援制度も、政府による支援策についても、利用する方向である意見が多い結果となった。

● ～新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していたか。……
また、2020年中の資金繰りについてどう考えているかについて～



新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していたかについては、「売上げの3ヶ月以上(28.7%)」、「売上げの1～3ヶ月分(49.6%)」、「売上げの2週間分～1ヶ月分(11.4%)」、「売上げの2週間分未満(3.1%)」、「ほとんど保有していない(4.7%)」、「把握していない(2.5%)」の結果となった。

2020年中の資金繰りについては、「不安がない(14.3%)」、「あまり不安はない(32.2%)」、「やや不安がある(44.5%)」、「かなり不安がある(9.0%)」の結果となった。

〈にっしん〉からのお知らせ

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、新型コロナウイルス感染状況により中止又は延期させていただきます場合があります。

●「にっしん輝きメッセ 2020」を実施します！

昨年に引き続き、西日本最大規模のビジネスマッチングフェア「国際フロンティア産業メッセ」と同時開催で、「にっしん輝きメッセ2020」を開催します。今年度も19社の当金庫お取引先様がブースを出展し、自社開発や製品のPRを行います！

- 開催日時：令和2年9月3日(木)・4日(金)10:00～17:00
- 会場：神戸国際展示場1号館(神戸ポートアイランド) ※今年度のブース出展の受付は終了しています。

●「土曜創業相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：令和2年 8月 8日(土)13:00～17:00 令和2年9月12日(土)13:00～17:00
令和2年10月10日(土)13:00～17:00
- 会場：明石商工会議所5階会議室 ●参加費：無 料
- 定 員：各日程4組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します！

事業継承をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和2年8月24日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 西宮今津支店
②令和2年9月16日(水)13:00～17:15 日新信用金庫 藤原台支店
- 参加費：無 料 ●定 員：各日程3組(ご相談時間1組75分)

〈にっしん〉の経営相談

日新信用金庫では、地域の中小企業者が抱える経営課題等について、最適な課題解決策を提供することを目的に「ソリューション事業室」という専門部署を設置して、お客様の成長ステージに応じたオーダーメイドのご支援をさせていただきます。ご相談いただいた経営課題に応じて、にっしん(営業店、ソリューション事業室)と、外部支援機関や各分野の専門家が密接な連携を図っていますので、お気軽にご相談ください。

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。



<https://www.nisshin-shinkin.co.jp/>



このたびは、第17回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで